



# プロンプト エンジニアリング入門

～AIを上手に使うための"声のかけ方"～

AIとの対話を効果的に行うための基本をご紹介します。プロンプトの書き方を学んで、AIをもっと便利に使いましょう。

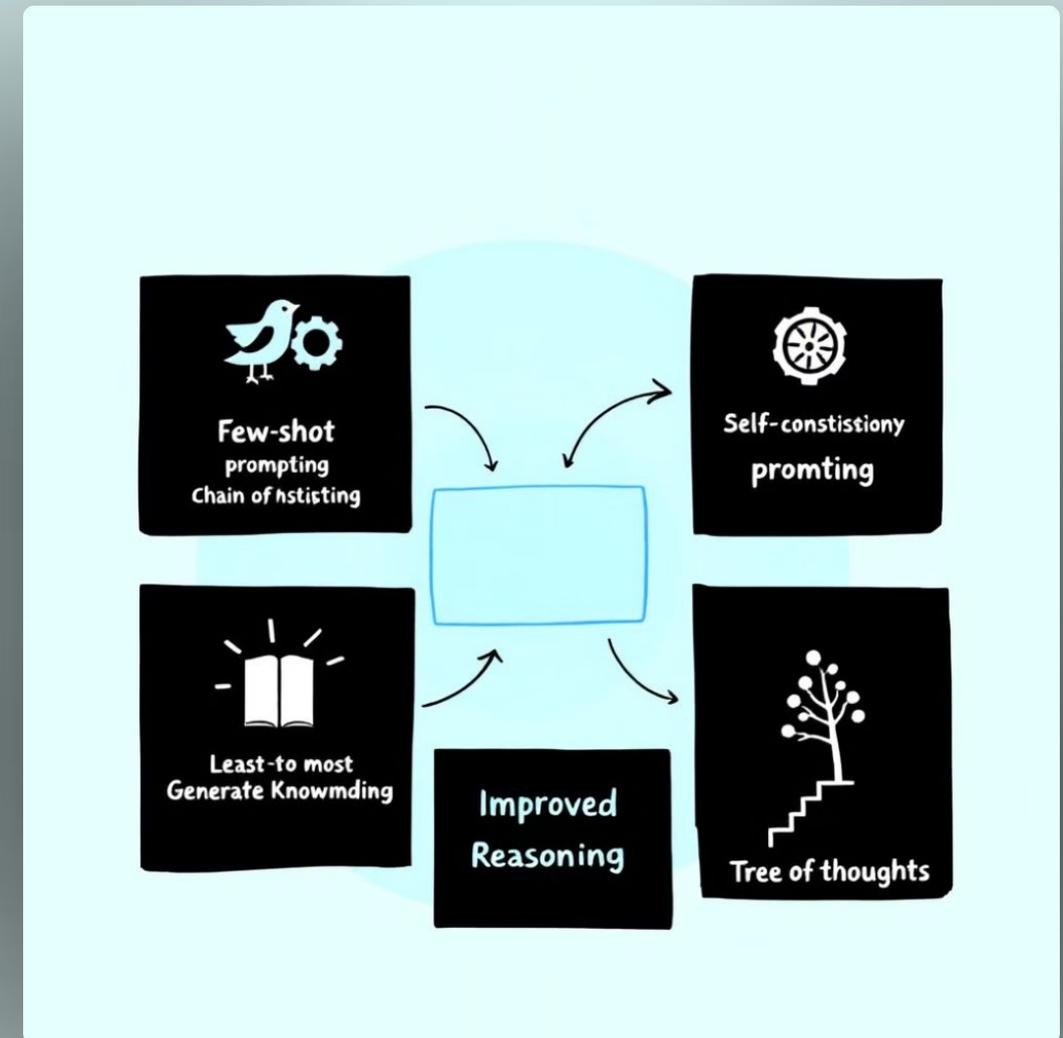
# セミナーの目標

その中にセミナーはLLMを使う際のプロンプト設計において、理論的に分析した研究を紹介し、プロンプト設計には明確な正解がないことも含めて、多くのユーザーは自分の勘や経験に頼って試行錯誤を続けていることをお伝えします

# 多様なプロンプト手法

これまで多様なプロンプト手法が提案されてきましたが、結局どの方法がなぜ有効なのかは整理されていません。

このセミナーは、そうした疑問に対して理論的な枠組みを示したものと伝えたいです。



# プロンプトってなんですか？

 SMS

## AIへの指示

「プロンプト」とは、AIに「こうしてほしい」と伝える"言葉"のことです。



## 伝え方が大切

AIは人間ではないので、ちゃんと説明しないと、正しい答えを出してくれません。



## お願いの仕方

プロンプトは、AIに対する"お願いのしかた"です。



# こんな違いが出ます！

## ダメな例(ざっくりしすぎ)

「チラシを作って」

どんな内容？誰向け？文字だけ？画像は？

わからないままAIが勝手に考えます。

## 良い例(はっきり伝える)

「70代の高齢者向けに、4月の無料終活セミナーのチラシをA4サイズで作ってください。テーマは『おひとりさまのためのエンディングノートの書き方』。文字は大きめ、イラストも入れてください。」

とても使いやすい原稿が出てきます！

# プロンプトはなぜ必要？

## 正確な答え

欲しい情報がピンポイントで得られます



## 時間短縮

やり直しが減り、効率的に作業できます



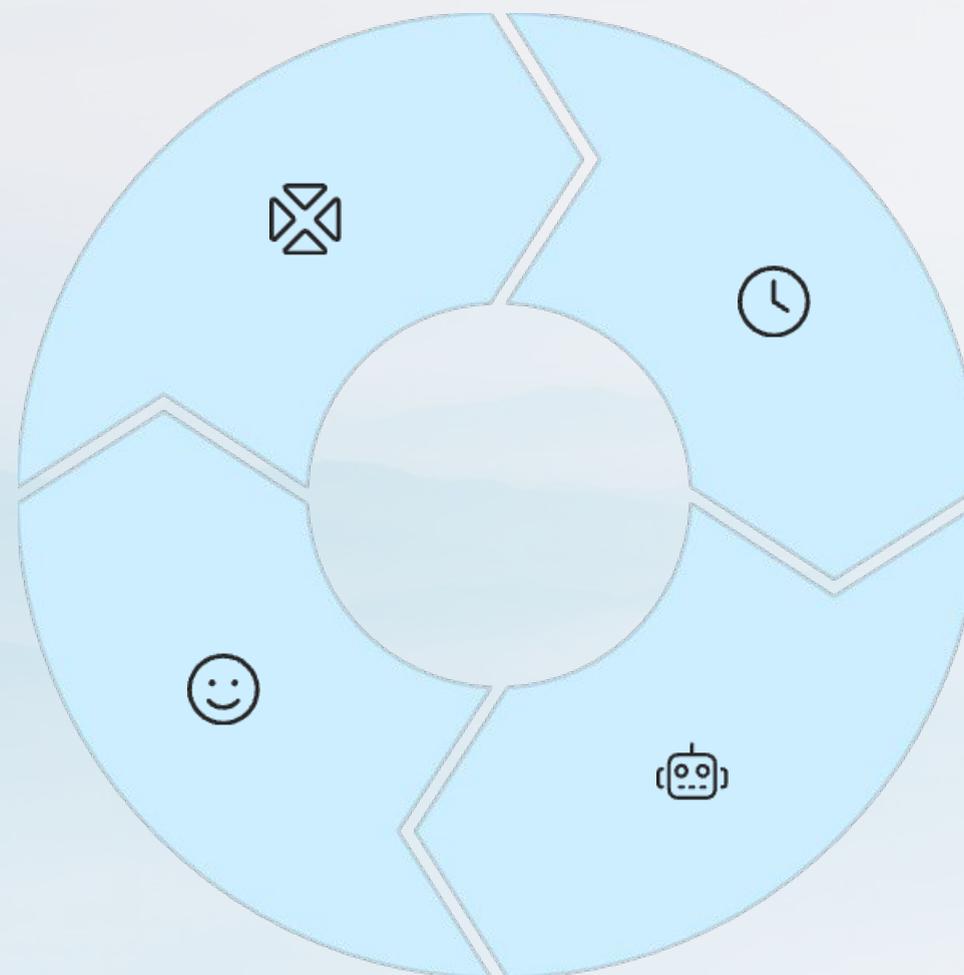
## 満足度アップ

AIとの対話が楽しく、成果も出ます



## 自動化

文章作成やデザインが楽になります



最近のAIはかしこくなっていますが、「何をどうしてほしいか」は、人間がしっかり伝えないといけません。

# まずはこう書いてみましょう(例文集)



## 基本の書き方

「〇〇向けに、〇〇の説明文を作ってください」



## 複数パターン

「チラシのタイトルと見出しを3パターン作ってください」



## わかりやすさ指定

「〇〇について、5歳児にもわかるように説明してください」

「この文章を、やさしい言葉に書き直してください」や「高齢者に伝わるように、文字を大きく、丁寧な表現で書いてください」なども効果的です。



入いか履靴いい  
！ウエーて！

？  
？

...

# よくある間違い

## 勘違い①

- ×「AIが勝手にやってくれると思っていた」
- AIは道具です。使う人の指示（プロンプト）がすべて。

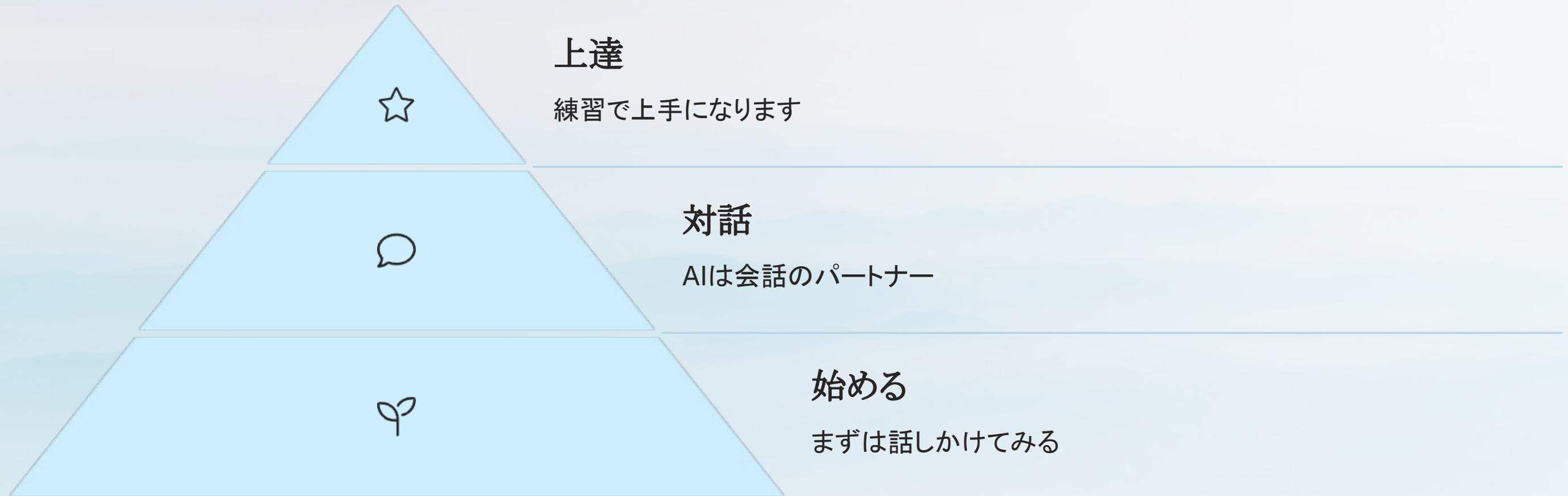
## 勘違い②

- ×「短く伝えたほうが楽」
- 実は丁寧に伝えた方が、あとで楽になります！

## 勘違い③

- ×「難しい言葉を使うべき」
- シンプルで具体的な言葉が効果的です。

# 最後に



AIは難しそうに見えますが、「話し相手」だと思ってください。相手にちゃんと伝えれば、ちゃんと答えてくれます。  
それがプロンプトエンジニアリングの力です。